

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/09/22

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	31.86	-0.05
JPY/THB	0.2153	-0.0003
USD/JPY	147.95	-0.05
EUR/THB	37.42	-0.17
EUR/USD	1.1746	-0.0042
USD/CNH	7.119	0.010
SGD/THB	24.80	-0.07
AUD/THB	21.01	-0.09
USD/INR	88.10	-0.03
USD Index	97.64	0.30

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.154	-0.015
10Y (THB)	1.341	-0.028
5Y (USD)	3.677	0.014
10Y (USD)	4.127	0.023

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,676.0	27.3
WTI (Oil)	62.68	-0.89
Copper	9,989.0	49.0

Stock

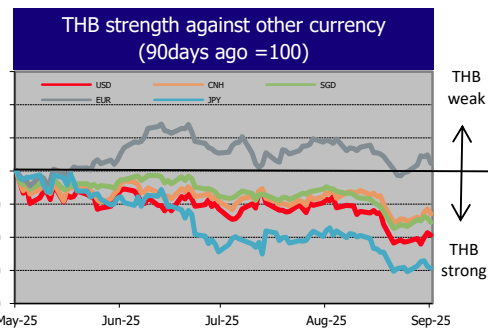
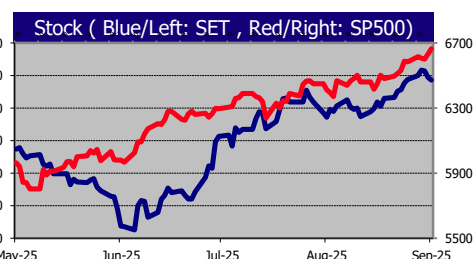
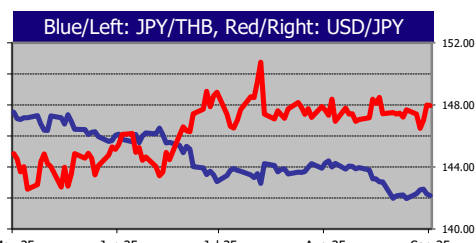
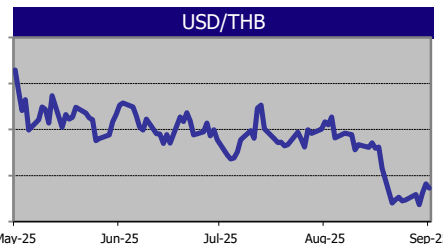
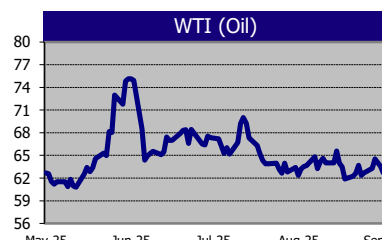
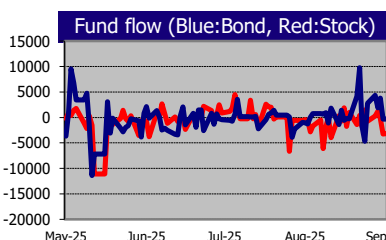
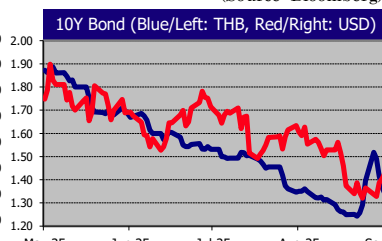
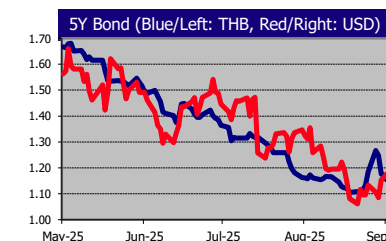
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,292.72	-4.29
NIKKEI (JP)	45,045.81	-257.62
DOW (US)	46,315.27	172.85
S&P500 (US)	6,664.36	32.40
SHCOMP (CN)	3,820.09	-11.57
DAX(GER)	23,639.41	-35.12

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(3,190)	36.9
Bond net flow	(302)	22.3

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

19日(金)のドルパーツは31.90パーツ台前半で取引を開始。特段のイベントもなく、FOMC後のドル売りの巻き戻しか欧州時間にかけて31.80パーツ台前半まで下落。その後は全体的なドル高の中で31.90パーツ台前半まで戻すも、NY時間では特段経済指標の発表がない中、米金利の上昇に伴い買われる場面もあったが続かず、その後は31.80パーツ台前半まで反落。午後は週末を控える中、同水準での推移も続き、同水準で取引終了。

●ドル円その他

19日(金)アジア時間のドル円は147円台後半で取引開始後、日銀金融政策決定会合発表を控え午前中は148円前後で推移した。その後政策金利維持の場合の通常の発表時間よりも遅れているとの見方から、じり高に反応。政策金利は現状維持であったが、0.25%利上げを意図した反対票2票が投じられたことがタカ派的、ETF等の売却がサプライズと受け止められ、株安・円金利上昇・円買いが進み、147円台前半まで下落。その後は反発し、147円台半ばでレンジ推移。高市氏の総裁選立候補表明会見の影響は限定的だった。147円台後半で欧州時間に渡ると、全体的なドル高の中で148円台前半に上昇。NY時間では、特段経済指標発表がない中、米金利の上昇に伴い買われる場面もあったが続かず、その後は147円台後半まで反落。午後は148円手前での推移が続き、同水準で取引終了。

Bangkok Dealer's Eye

先週の中銀ウィークを通過した。日銀会合では政策金利こそ据え置かれたが、25bpsの利上げを意図した反対票が2票入っていたことや、ETF等の売却発表もあり、年内利上げ観測が台頭。週が明けて、今朝の日本10年債利回りは2008年7月以来、約17年ぶりの水準まで上昇している。また、FOMCでは市場予想通り利下げが決定され、両国の金融政策の方向性の違いを改めて確認できた一週間となった。ただ、ドル円相場を見ると、足もと、148円台前半での推移となっており、円が買われている状況にはないことが分かる。足もとの状況に鑑みれば、もちろん総裁選が控えていること等個別の要因はあるだろうが、やはり円は需給構造の変化等、単純に金利差等では動きを見通し難い通貨となったということだろう。現在の構造が直ぐに変化するとも考えにくいことを勘案すれば、引き続き円は買われにくい状況が継続するものと考ええる。(末廣)